記者発表資料

水資源機構

令和７年７月１日
独立行政法人水資源機構
利根川上流総合管理所

神流川（かんながわ）の水位上昇にご注意ください

～ 神流川の環境改善のための 下久保ダムフラッシュ放流の実施について～

独立行政法人水資源機構利根川上流総合管理所（みずしげんきこうとねがわじょうりゅうそうごうかんりしょ）が管理する下久保（しもくぼ）ダムでは、ダム下流河川環境の改善を目的とした「フラッシュ放流」を以下のとおり実施します。

予定日時：令和７年７月９日(水)

放流(増量)開始：10時頃 ～ 放流(増量)終了：15時頃(予定)

今回実施する「フラッシュ放流」は、ダムから流す水の量を短時間で一時的に増やし、ダム下流河川(三波石峡（さんばせっきょう）など)の付着藻類（ふちゃくそうるい）の剥離（はくり）や河床の回復など、生物の生息環境や景観を改善させることを目的とした取り組みです。

この放流によりダム下流の神流川では、ところによって最大2.5ｍ程度の水位上昇が見込まれますので注意してください。

当日は、ダムからの放流に合わせた警報(放送・サイレン吹鳴)を行うとともに河川巡視を行います。

※　取材を希望する場合、または当日の状況写真を希望される場合は事前に下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

発表記者クラブ：　熊谷記者クラブ、藤岡記者クラブ

お問合わせ先 ： 利根川上流総合管理所　副所長　佐藤（さとう）
下久保ダム管理所　所長　西村（にしむら）
電　話：０２７８（２４）５７１１（代表）
０２７４（５２）２７４６（下久保ダム管理所）

下久保ダムフラッシュ放流について

１．フラッシュ放流とは

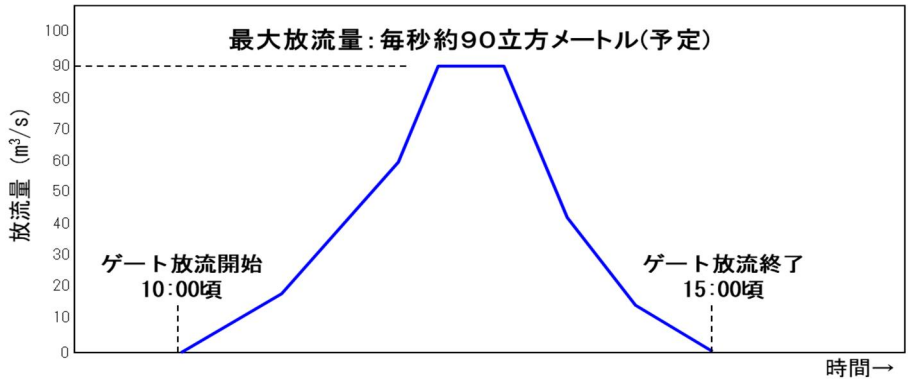
フラッシュ放流とは、ダム下流の河川環境の改善を目的として、洪水調節に支障を及ぼさない範囲で、洪水調節容量の一部に流水を貯留し（弾力的管理試験）、これを利用して短時間にダムから流す水の量を増加させる放流です。これにより河床をリフレッシュさせ、河川に生息する魚などの生物にとって良好な環境へ改善させることを目的とした取り組みです。

下久保ダムでは、これまで、平成２０年、平成２２年、平成２３年、平成２４年及び平成２６年にフラッシュ放流を実施しています。

２．実施予定日時

令和７年７月９日（水）　１０時頃～１５時頃（予定）

最大放流量：最大で毎秒約９０立方メートル（予定）



※　実際の最大放流量や時間は、弾力的管理試験のために確保できた流水の量、当日の状況等により一部変更する場合があります。

※　当日及び前日までのダム貯留状況や気象状況によっては、フラッシュ放流を中止する場合があります。この場合は下久保ダムＨＰにてお知らせします。

３．フラッシュ放流により期待される効果

① あらかじめダム下流に置いた砂利や砂を流しダム下流河川の河床堆積物や付着藻類を掃流する。

② 砂利や砂の供給により砂州形成や生物の生息・生育環境を改善する。

③ 川の一部にできたよどみを流して川をきれいにする。

４．フラッシュ放流の概要

ダムから流す水の量：最大で毎秒約９０立方メートル（予定）

※　フラッシュ放流時は、河川利用者の安全確保のため、サイレン吹鳴及びスピーカ放送並びに河川巡視を行います。

５．過去のフラッシュ放流実施状況

下久保ダム洪水吐ゲートから最大約毎秒90立方メートルを放流

9:30 放流開始前

13:00頃 最大放流時

16:00 放流終了後

フラッシュ放流によるダム直下置土の流下

フラッシュ放流前

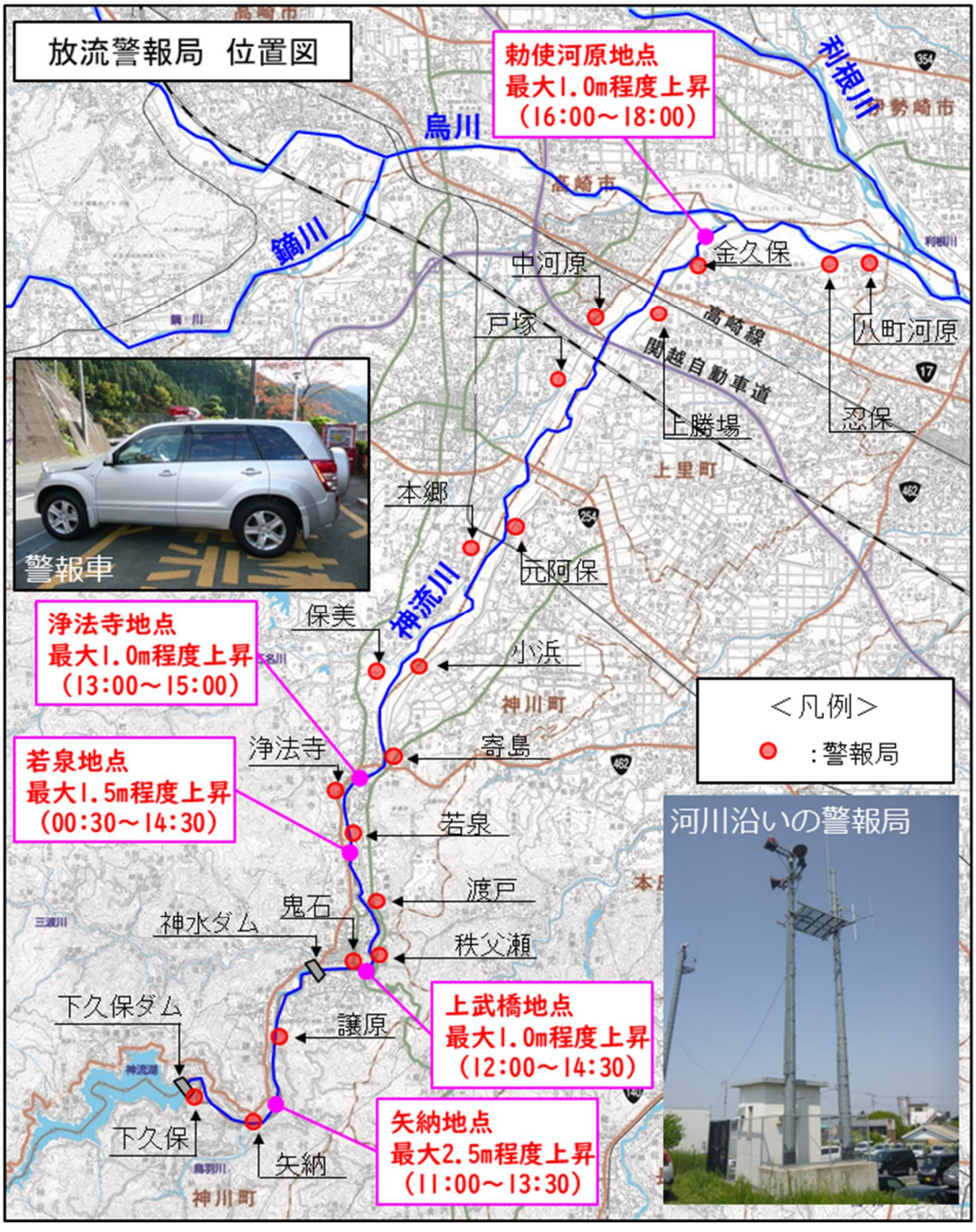
フラッシュ放流後

三波石峡での河床の復元（砂州形成）

６．フラッシュ放流時のダム下流河川の水位上昇について

今回のフラッシュ放流によって、ダム下流の**神流川では**、次のとおり**川の水位が上昇する**ことが予想されますの**注意してください**。

フラッシュ放流時には河川利用者の安全確保のため、サイレン吹鳴（すいめい）及びスピーカ放送並びに河川巡視を行います。河川利用者の方には、**河川から退避していただくことをお願いする場合があります**。ご理解、ご協力をお願いします。



神流川の放流警棒設備と各地点の水位上昇量と時間の目安